

登録医ニュース

メタセコイア

第37号
2016.5

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8521 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

新たなスタートにあたって

東北医科薬科大学病院 病院長 ^{こんどう}近藤 ^{たかし}丘

本院は平成28年4月1日に東北医科薬科大学病院として無事新たな第1歩を踏み出しました。また、4月5日の入学宣誓式では清新さ漲る100人の医学部第1期生を迎えることができました。1年次の早期臨床体験に始まり、この福室キャンパスに若い力が年々満ちていくことを想像いたしますと、胸の高まりを感じざるを得ません。平成29年度には教育研究棟が1棟完成し、肉眼解剖学実習が始まり、平成30年度にはもう1棟が完成して講義室や研究室が整備されて医学部の体制が整ってまいります。その頃には3学年300人の学生数となり、また、第1大学病院棟の建設も佳境に入るため、充実したキャンパスの様相を呈してくるものと思われます。平成31年春竣工予定の第1大学病院棟には、放射線治療部門、集中治療部、血管撮影室、手術部と150床の病棟が予定されており、病院の機能が大きくステップアップしますが、それまでの3年間は若林病院との連携も図りつつ、現状の病院棟を最大限に活用して診療科の増加や診療要員の増加に対応していかなくてはなりません。4月から、腎臓内科、総合診療科、救急科、小児科などの外来診療ブースの確保のための改修工事を順次スタートしており、救急センターの体裁が整う10月頃でとりあえずの一段落を迎えます。一方、その他の診療科でも糖尿病代謝内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、精神科、整形外科などで人員の増加による診療強化と診療領域の拡大がなされ、そのための設備投資も積極的に進めているところです。

このようなことによって、地域医療の中核としての機能を飛躍的に高めることが可能となるとわれ、より信頼性の高い医療機関として成長していくことができると信じております。また、診療に直接関わることで以外にも、地域の登録医の皆様のご意見を反映できる仕組みづくりや、患者さんや家族の相談などの窓口機能の強化なども順次進めてまいりたいと考えております。

4月にスタートの新設医学部が完成となるのは6年後になりますが、それまでは日々成長の毎日になります。何も無い所に新しいものを創り上げるのと違い、既存の建物や設備を利用しながらの成長ですので、さながら脱皮を繰り返す生き物のように姿を変えながら順次成長をしていくことになります。脱皮の時には一時的な機能の低下によりご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、力強い成長のために必要なステップとご理解いただき、これまで同様の温かいご支援をよろしくお願い致します。

腎臓内分泌内科紹介



腎臓内分泌内科科長 森 建文

腎臓内分泌内科は4月より東北医科薬科大学病院になり新設された新しい科です。地域に根ざし患者様それぞれのライフスタイルやニーズに合う診療をめざしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

顕微鏡的尿尿や蛋白尿、腎機能障害、電解質異常、多発性嚢胞腎などの腎疾患や難治性（2次性）の高血圧やホルモン分泌異常などの内分泌疾患を担当しております。腎臓は沈黙の臓器であるために、知らない間に腎機能が低下し腎不全に至ります。腎機能が低下する原因の疾患は様々あり、生活習慣病や腎炎、免疫病のこともあれば遺伝性、薬剤性等様々あります。腎臓が悪くなる原因疾患を診断し、腎機能を悪化させないために患者様を多方面からサポートします。たとえ腎不全に至っても、我々は生活スタイルに合わせた腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植）を提案します。とくに在宅で治療可能な腹膜透析に力を入れており、東北有数の施設です。腹膜透析は一般に月一回の受診ですので、従来の主治医の先生に通院したまま、当院に通院することも可能です。また、腹膜や残腎機能に依存した期限のある医療ですので、地域の先生方と連携し、血液透析や腎移植などへのスムーズな治療変更も支援します。

内分泌疾患もまた、気づかないうちに身体をむしばみます。我々は難治性高血圧や電解質異常などの内分泌疾患にも広く対応し、患者様を様々な臓器の障害から守ります。

腎臓病や高血圧、内分泌疾患は食環境等の生活習慣や自分の疾患に対する自己管理（セルフケア）が重要です。我々は専門のスタッフと連携し、生活習慣や食事、運動、薬剤管理をご家族とともに教育し、セルフケアをサポートします。

新患日や各種専門外来日が異なっておりますので、外来お問合せの上、ご紹介いただければ幸いです。多くの先生方にご指導いただきながら、地域医療に少しでも貢献していく所存です。よろしくお願い申し上げます。

小児科紹介



小児科科長 森本 哲司

東北医科薬科大学医学部の新設に伴い、当院で小児科が再開されました。小児科専門医・指導医に加え、日本腎臓学会指導医・専門医である森本哲司と、日本外科学会・日本超音波医学会・臨床遺伝専門医である藤井喜充が着任致しました。今年度は2名体制ですが、次年度は小川英伸教授を迎え、さらに平成30年度からは6名の日本小児科学会専門医体制で、8つの分野（内分泌・糖尿病、腎、消化器、神経、循環器、アレルギー、遺伝・先天性疾患、外科疾患）の小児医療を提供致します。

当科の目標は、未来を担うこども達を守り、地域医療に貢献する小児総合診療医を育て、地域住民に信頼されることです。

外来診療は、GW明けに開始する予定です。また、入院患者さんは6月から受け入れる予定となっております。2人体制故の御不便をおかけすることのないよう、心して診療に当たりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

産婦人科紹介



産婦人科科長代理 中西 透

2016年4月1日産婦人科に着任しました中西透と申します。大変失礼とは存じますが、紙面をもちまして登録医療機関の皆様にご挨拶申し上げます。

産婦人科は、妊娠や分娩を取り扱う周産期医療、不妊治療を専門とする生殖医療、子宮頸癌や卵巣癌の治療をする婦人科腫瘍、更年期障害などを診療する女性医学、の4分野があります。

私は婦人科悪性腫瘍を専門としており、同日に着任しました喜多川亮医師は婦人科腫瘍に対する化学療法が専門ですので、今後は悪性腫瘍に対する手術や抗がん剤治療などを中心に診療していきたいと考えております。

しかし、本院は医学教育機関であるため産婦人科の分野全てを診療する必要があります。まだ時間がかかりますが分娩の再開を予定しており、良性腫瘍や生殖医療、女性医学の診療にも積極的に取り組んでいく所存です。

これにより登録医療機関の皆様のお手伝いが少しでもできましたら幸いです。今後も御指導御鞭撻を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

総合診療科紹介



総合診療科科長 古川 勝敏

東北医科薬科大学病院は2016年4月1日の医学部新設に伴い名称が変更され、新たなスタートを切りました。それと同時に総合診療科も体制を刷新し、新しい医師も加わり診療にあたっております。メンバーは、古川勝敏、人見秀昭、住友和弘、大原貴裕、宮澤イザベルの5名の医師です。

本院には多くの診療科があり、積極的な診療活動を行っていますが、患者さんによっては、なんとなく具合が悪いがどんな病気か分からない、どの診療科を受診したらよいか分からない、といった方がいらっしゃるかと思います。当科ではそのような患者様の初診を担当させていただいています。総合診療科は、病床も持っており、外来診療のみならず入院での診療も担当しています。また、当科は現在、救急科と共同で平日の日中における救急車来院を含めた救急患者様の対応にも当たっています。これらの当科の診療の中でより適切な診療科が院内で見つかった場合には、そちらの診療科に患者様を紹介いたします。また、当院内の診療科での対応より他院での診療が必要だと判断した場合には、速やかに他院を紹介させていただきます。

総合診療科にとっては、地域医療への貢献も必要な使命です。上記の総合診療を通して東日本大震災の被災地も含めた地域医療の充実に向けても貢献してまいります。宮城野区、仙台市に留まらず、東北エリアの病院、診療所、介護施設、地域包括ケアセンター等との連携を取りながら、住民の方々の健康維持、疾病予防を目的とした地域医療の充実を念頭に活動を続けてまいります。

医学教育に関しては、近く総合診療専門医制度が開始いたしますので、総合診療専門医の育成にも努めていきます。東北医科薬科大学医学部設立における最大のミッションである「東北エリアの地域医療に貢献する総合診療医の育成」を達成すべく、診療、教育を続けてまいります。

地域の患者様、先生方、医療関係者の方々と連携を十分に深め、「総合診療」「地域医療」の両面で、皆様のお力になれるよう全力で努力してまいります。どうか御高配の程、よろしくお願い致します。



外来診療担当一覧表

平成28年5月9日現在



東北医科薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通 FAX)

階	診療科		月	火	水	木	金
1F	消化器内科	診察室④	再来 山 本 毅	新患 山 本 毅	再来 山 本 毅	再来 米 地 真	再来 山 本 毅
		診察室⑤	新患 支 倉 翔太郎	再来 目 黒 敬 義	新患 目 黒 敬 義		新患 米 地 真
		診察室⑥	新患 福 士 大 介	新患 松 村 吉 史	新患 支 倉 さやか	新患 福 士 大 介	新患 目 黒 敬 義
		診察室⑦	新患 佐 藤 倫 紀	新患 支 倉 翔太郎	新患 佐 藤 倫 紀	新患 大 方 智 樹	新患 高 山 歳 三
	外科	新患 診察室①	岩 指 元	柴 田 近	向 田 和 明	小 川 仁	児 山 香
		再来 診察室②	木 村 俊 一	向 田 和 明	岩 指 元	児 山 香	荒 木 孝 明
	乳腺・内分泌外来	新患・再来	朴 英 進	朴 英 進	朴 英 進	朴 英 進	朴 英 進
	呼吸器内科	診察室②	新患 海老名 雅 仁	新患 阿 部 達 也	新患 大 野 勲	新患 海老名 雅 仁	新患 小 林 隆 夫
		診察室①		再来 海老名 雅 仁	再来 小 林 隆 夫		再来 阿 部 達 也
	慢性呼吸器疾患・アレルギー	新患・午後 診察室②		海老名 雅 仁		海老名 雅 仁	
	感染症内科	診察室①	関 / 福 家			関 雅 文	
	呼吸器外科	新患・再来 診察室④	田 畑 / 石 橋	田 畑 俊 治	田 畑 / 菅 原	田 畑 俊 治	田 畑 俊 治
	循環器内科	新患 診察室①	交替 (片 平 / 山 家)	片 平 美 明	片 平 美 明	山 家 実	中 野 陽 夫
		診察室②	住 吉 剛 忠	門 脇 心 平	住 吉 剛 忠	長谷川 薫	菊 田 寿
		再来 診察室③	宮 下 武 彦	宮 下 武 彦	山 家 実	中 野 陽 夫	関 口 祐 子
	心血管外科	診察室④	三 浦 誠				三浦誠 / 渡辺卓
	血液・リウマチ科	新患	武 田 朋 樹	武 田 朋 樹	岡 友美子	第2 小 寺 隆 雄	岡 友美子
		再来 午前	小 寺 隆 雄	小 寺 隆 雄	竹 下 美 紀	武 田 朋 樹	小 寺 隆 雄
		午後	小 寺 隆 雄	小 寺 隆 雄			小 寺 隆 雄
		午前	岡 友美子	岡 友美子		岡 友美子	竹 下 美 紀
		午後	岡 友美子	岡 友美子		岡 友美子	武 田 朋 樹
	整形外科	新患 診察室①	千 葉 晋 平		峯 岸 英 絵		舘 田 聡
		〈専門外来〉	〈リウマチ〉	〈関 節〉	〈骨粗鬆症〉	〈脊 椎〉	
		再来 診察室②	佐 野 徳 久	佐 野 徳 久	石 塚 正 人	小 澤 浩 司	佐 野 徳 久
		再来 診察室③	千 葉 晋 平	石 塚 正 人	峯 岸 英 絵	舘 田 聡	舘 田 聡
	糖尿病代謝内科	診察室①	新患 丹 治 泰 裕	再来 丹 治 泰 裕	新患 赤 井 裕 輝	再来 渡 辺 太 一	再来 赤 井 裕 輝
		診察室②	再来 渡 辺 太 一	新患 平 井 敏	再来 平 井 敏	再来 赤 井 裕 輝	再来 平 井 敏
		診察室③	再来 善 積 信 介	再来 善 積 信 介	再来 丹 治 泰 裕	新患 善 積 信 介	新患 渡 辺 太 一
	小児科		藤 井 喜 充	森 本 哲 治	藤 井 喜 充	森 本 哲 治	藤 井 喜 充
	禁煙外来	第2 第4	関 雅 文				
	神経内科	新患	小 林 理 子	川 口 典 彦	渡 辺 靖 章	藤 盛 寿 一	石 垣 あ や
		再来	《応援医師》	小 林 理 子	藤 盛 寿 一	石 垣 / 川 口	《応援医師》
	リハビリ 〈専門外来〉			〈障害者健診〉	〈嚥下障害〉	〈ボトックス〉	〈高次脳機能障害〉
	テーション科	新患	室 谷 嘉 一		内海 / 菊池 / 室谷		
		外来		内 海 由 也	内海 / 菊池 / 室谷	午後 室 谷 嘉 一	菊 池 太 一
	リハビリ前診察		室 谷 嘉 一	内 海 由 也	内 海 / 菊 池	内 海 由 也	菊 池 太 一
2F	耳鼻咽喉科		太 田 伸 男	隔週 栗田口 / 東海林	太 田 伸 男	東海林 史	栗田口 敏 一
			栗田口 敏 一	鈴 木 貴 博	栗田口 敏 一	隔週 野 口 / 角 田	鈴 木 貴 博
			東海林 史	野 口 直 哉	野 口 直 哉	高 橋 由 紀 子	角 田 梨 紗 子
	放射線科		小 山 周 樹	小 山 周 樹	小 山 周 樹	小 山 周 樹	《応援医師》
	歯科口腔外科	新患・再来	細 谷 誠	細 谷 誠	細 谷 誠	細 谷 誠	細 谷 誠
		口腔外科	篠 原 文 明	午後 宮 下 仁	篠 原 文 明	篠 原 文 明	篠 原 文 明
	泌尿器科	新患・再来 午前	福 崎 篤	《応援医師》		《応援医師》	
		午後	福 崎 篤	松下真史 / 大黒祥光			
	腎臓	午前	再来 矢 花 郁 子	新患 岩 倉 芳 倫	再来 森 建 文	新患 森 建 文	再来 佐 藤 真 一
		午後	再来 矢 花 郁 子	再来 岩 倉 芳 倫	再来 森 建 文	再来 森 建 文	
	内分泌			新患 岩 倉 芳 倫		新患 森 建 文	第1 岩 倉 芳 倫
				再来 岩 倉 芳 倫		再来 森 建 文	第3 井 樋 慶 一
	皮膚科	診察室①	岡 昌 宏	坂 口 正 展	岡 昌 宏		坂 口 正 展
	眼科	診察室①	高 橋 秀 肇	西 郷 陽 子	西 郷 陽 子	西 郷 陽 子	高 橋 秀 肇
		診察室②	西 郷 陽 子	多 田 麻 子	多 田 麻 子	高 橋 秀 肇	多 田 麻 子
	精神科	診察室①(午前)	鈴 木 映 二	吉 村 淳	鈴 木 映 二	隔週 鈴 木 / 吉 村	吉 村 淳
	*→特殊外来	(午後)	* 鈴 木 映 二		* 鈴 木 映 二		
		診察室②(午前)		中 川 誠 秀	中 川 誠 秀		中 川 誠 秀
		(午後)		* 中 川 誠 秀			
	腫瘍内科		木 場 崇 剛	木 場 崇 剛	木 場 崇 剛	木 場 崇 剛	木 場 崇 剛
			三田地 泰 司			三田地 泰 司	
	救急科		遠藤 / 住友・大原	外科 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原
	総合診療科		古 川 勝 敏	住 友 / 人 見	大 原 貴 裕	住 友 / 人 見	宮澤 イザベル
	産婦人科		深 谷 孝 夫	中 西 透	深 谷 孝 夫	深 谷 孝 夫	深 谷 孝 夫
			中 西 透	喜多川 亮	喜多川 亮	喜多川 亮	中 西 透

※都合により担当医師が変更している場合があります。